

## 令和3年度 第4回経営審議会議事録

日時 令和4年3月25日(金) 13:55～15:20  
場所 本部棟2階 小会議室1  
出席者 沖議長、善勝委員、末岡委員、晝田委員、中島委員、梶谷委員、則武委員  
(出席7/7名)  
(監事) 井上監事、大土監事(出席2/2名)  
(事務局) 小西次長、長家課長、鈴木主事、鈴木課長、河合経理班長、  
的場主幹、鷺田総務班長

### 1 開会

### 2 議事録の確認

令和3年度第3回(令和3年11月24日開催)の議事録案は承認された。

### 3 議題

#### [1] 審議事項

##### (1) 第3期中期計画 令和4年度計画(案)について

・事務局から別添資料1により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

#### 【質疑応答等】

(問)成果指標について目標数値の記述があるが、前年度の成果数字の記述がある方が分かりやすいのではないか。

(答)ご指摘のとおりと認識している。現在準備中であるが、今は確定版を公開できない段階である。

(問)グローバル化に関する指標は、TOEIC平均点の伸び幅4.0点とのことだが、「平均点〇点以上」とする方が、分かりやすいのではないか。

(答)TOEIC平均点は、中期計画を作成した時点では大きく下がっていたが、今年度は大きく上がっている。中期計画は6年間同じ表現で示さなければならぬが、ご指摘のとおり、この書き方では分かりにくいかもしれない。

(問)中期計画の策定時の成果指標を計画期間中は使うのか。

(答)そのとおりで、途中で上方、下方修正はできない。中期計画策定時に綿密に検討しなければならない。

(問)数値だけではなく、例えばコロナ禍にしては良い結果であるとか、プロセスの評価も大切ではないか。

(答)県の評価委員には、そのあたりも評価していただいている。

(問)危機管理マニュアルの作成について記述があるが、危機管理マニュアルは既にどこでも策定されているのではないかと思うが、何か新しく作成するのか。

(答)例えば、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成し、状況に応じて改訂を行っている。また、研究等で劇物、ガス、薬品を扱うことがあるが、細かい対応マニュアルが不十分なところもあり、改善を進めている。

(問)令和4年度計画だが、令和3年度からの継続が多いと感じる。令和4年度新規内容、令和3年度終了内容が明らかになれば良いと思う。

(答)計画の内容は同じように見えるが評価は毎年度変わる。計画の中に、完結する項目はないとも感じている。

## (2) 岡山県人事委員会勧告に伴う諸規程の一部改正(案)について

・事務局から資料1により説明があり、原案どおり承認された。

### 【質疑応答等】

(問)不妊・不育治療のための休職制度について、参考にお尋ねするが、休職ではなく、数日間の休暇の制度はあるのか。

(答)ある。

## (3) 公立大学法人岡山県立大学役員報酬規程の一部改正(案)について

・事務局から資料2により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

## (4) 令和3年度補正予算(第3回)(案)について

・事務局から資料3により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

### 【質疑応答等】

(問)目的積立金取崩額は、当初予算よりも減るのか。

(答)コロナで行事が中止や縮小となり、経費が減った部分もある。オンライン会議については定着してきており、来年度以降も経費が節減できるのではないかと感じている。

## (5) 令和4年度当初予算(案)について

・事務局から資料4により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

### 【質疑応答等】

(問)大規模補修はどのような内容か。

(答)高圧受変電設備整備の設計業務、給排水・排水処理施設整備の合併処理浄化槽整備業務、外壁タイル等点検補修の設計業務である。

(問)毎年増加するのか。

(答)開学から30年近く経過し、全面的に更新しなければいけない時期である。県への要望額は毎年もっと多いが、令和4年に要望が認められた予算がこの金額である。

(問)「学生対応マニュアル」について、改訂は教員が行うのか。教員が参考とするものか。有効に活用されているのか。

(答)学生相談の際、教員の参考となるようキャリア・学生生活支援センターが作成している。

(問)短期借入金をしたことはあるのか。

(答)今までに行ったことはない。

(問)令和4年度は目的積立金取崩額が大きく膨らむようだが、何か特殊事情があるのか。それとも今後続く見通しなのか。

(答)ご指摘の通りで、経費を抑えるよう工夫しているが、削減できない支出も多い。収入を増やす方策としても、県交付金や学納金、検定料の金額はほぼ決まっている。研究費を多く獲得するよう努めるしかないと思っている。

(問)長期的にしっかり見ていかなければ、やりたいことができなくなり、厳しい状況である。

(答)教員も外部資金を取っていかなければならないが小規模なものが多く、難しい。

## **[2] 報告事項**

### **(1) 職員の採用について**

- ・事務局から資料5により報告があった。

○次回審議会は、令和4年6月21日(火) 14:00から開催する予定。